



TOHOKU  
UNIVERSITY

主催：東北大学文学研究科言語学研究室

共催：東北大学文学研究科・東北大学加齢医学研究所脳 MRI センター

## シンポジウム

# 言語・認知・感情の脳機能研究の可能性

日時：2023年9月21日（木） 13:00-18:00

場所：東北大学川内南キャンパス文学部第2講義室

事前申し込み・参加費不要

人文知に対していかに神経科学的証拠を与えることができるか、MRI を利用した人文・社会科学共同研究の可能性を模索します。脳 MRI センターの共同施設利用を予定している方はもちろんのこと、これらのトピックに関心のあるすべての方を歓迎いたします。

13:00-13:10 開会挨拶 杉浦元亮 東北大学加齢医学研究所・教授

### < 第1部 >

13:10-13:40 報告 談リウイ 東北大学文学研究科・博士後期課程  
「間接発話認知の加齢変化の神経基盤について」

13:40-14:10 報告 Yin May Zin Han 東北大学医学系研究科・博士前期課程  
“Neural Correlates of Motivation Behind Different Dialogue Modes”

14:10-14:25 休憩

### < 第2部 >

14:25-15:05 報告 汪敏 東北大学文学研究科・専門研究員  
「ポライトネスと中途終了型断りの認知：日本語母語話者と非母語話者の比較」

15:05-15:45 報告 Diego Elisandro Dardon 東北大学国際文化研究科・専門研究員  
“The Learning Mechanism of Nominal Classification Systems”

15:45-16:00 休憩

### < 第3部 >

16:00-16:45 講演 鄭媽婷 東北大学国際文化研究科 / 加齢医学研究所・教授  
“The Effect of Information Structure on Word Order Processing: An fMRI Study”

16:45-17:30 講演 小泉政利 東北大学文学研究科・教授  
「行動・生理指標付き自然言語コーパスの可能性」

17:30-17:50 全体討論

17:50-18:00 閉会挨拶 木山幸子 東北大学文学研究科 / 加齢医学研究所・准教授

お問合せ：木山幸子 (skiyama@tohoku.ac.jp)